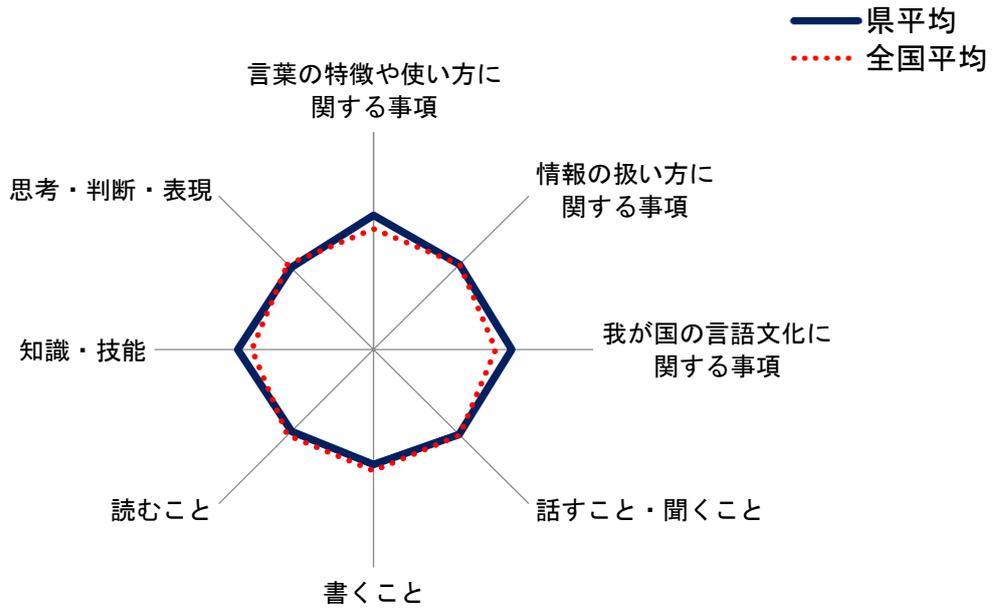
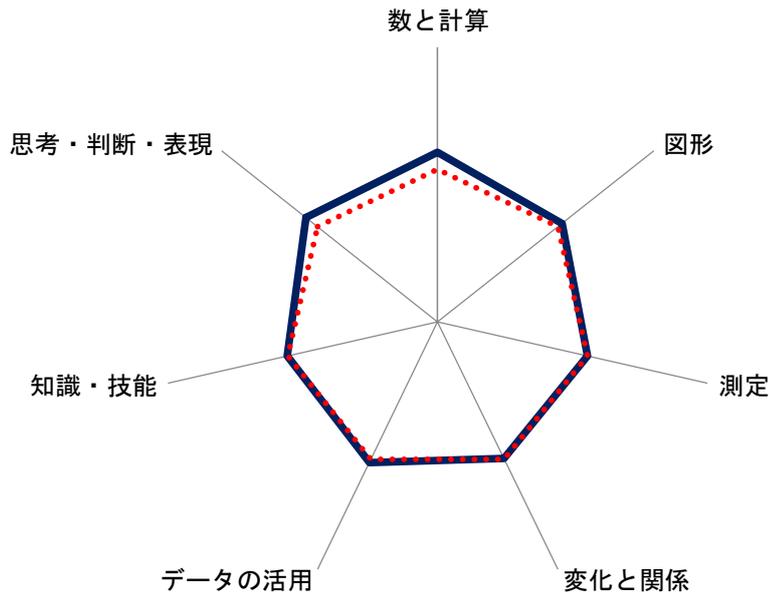


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

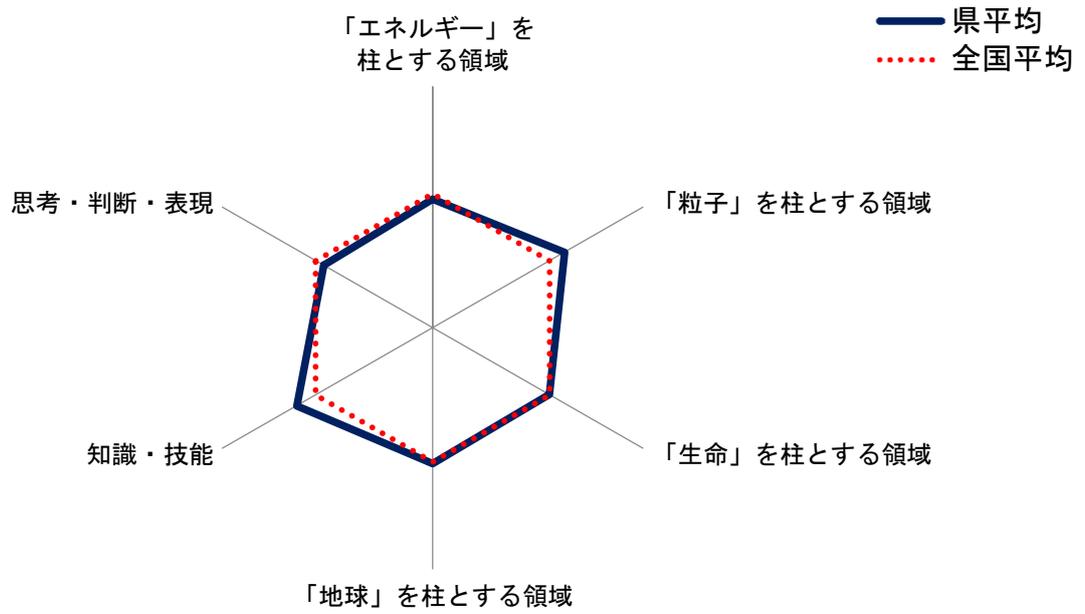


【算数】

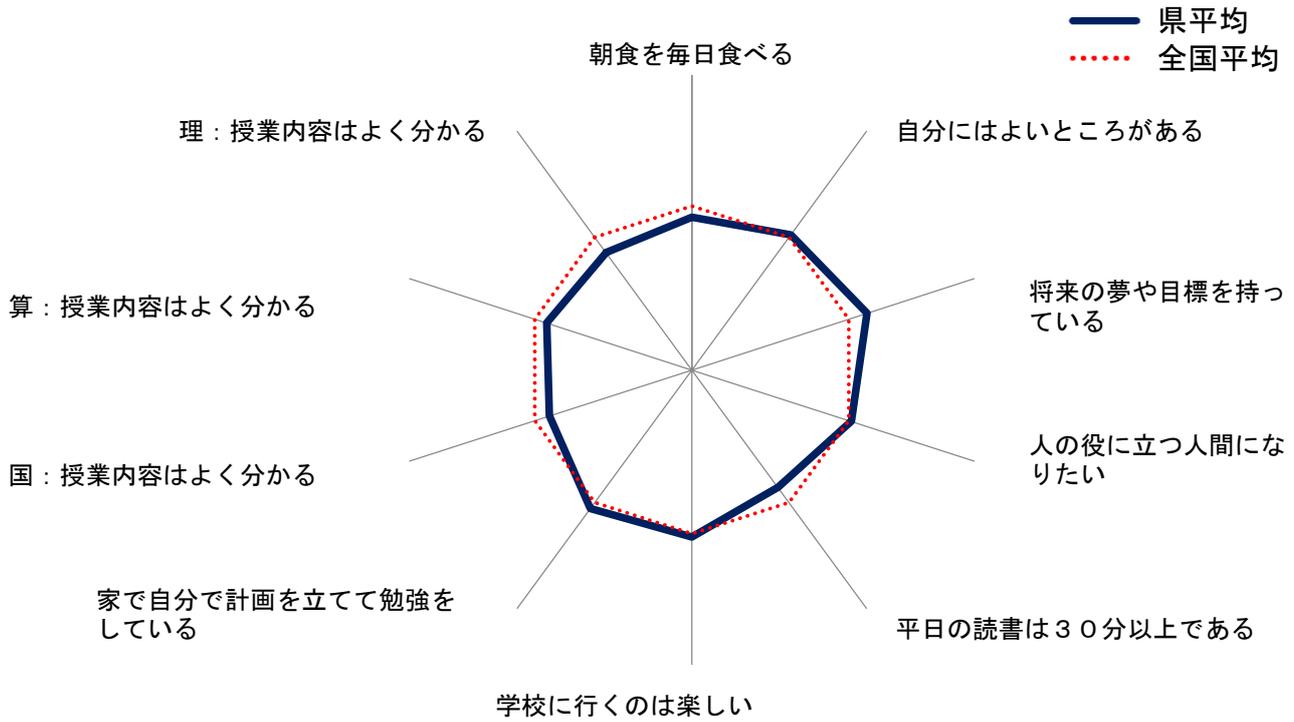


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、算数は、「変化と関係」の項目が全国平均をわずかに下回っているものの、それ以外の全ての項目が全国平均を上回っており、特に「数と計算」の項目が昨年度に引き続き良好な結果である。国語と理科は、「知識・技能」の項目は全国平均を上回っているものの、「思考・判断・表現」の項目が下回っており課題が見られる。今後も学力の定着と向上に向けて、設問ごとの詳細な分析を行い、児童一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を継続する必要がある。

児童質問紙調査では、「将来の夢や目標を持っている」の項目が全国平均を3ポイント近く上回っており、良好な結果が続いている。一方、「平日の読書は30分以上である」の項目が、今年度の調査においても引き続き全国平均を下回り、読書習慣の定着に課題が見られる。今後、電子版読書通帳「みきゃん通帳」Webアプリの開発・運用により、読書活動の充実を図る必要がある。